



いしかわ労福協

第 484 号 2008年5月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 上田弘志
編集人 綿 征一
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
<http://www.ishikawa-rofukukyo.jp>
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定 価 一部 20円
昭和39年3月30日 第三種郵便物認可

第79回 石川県統一メーデー



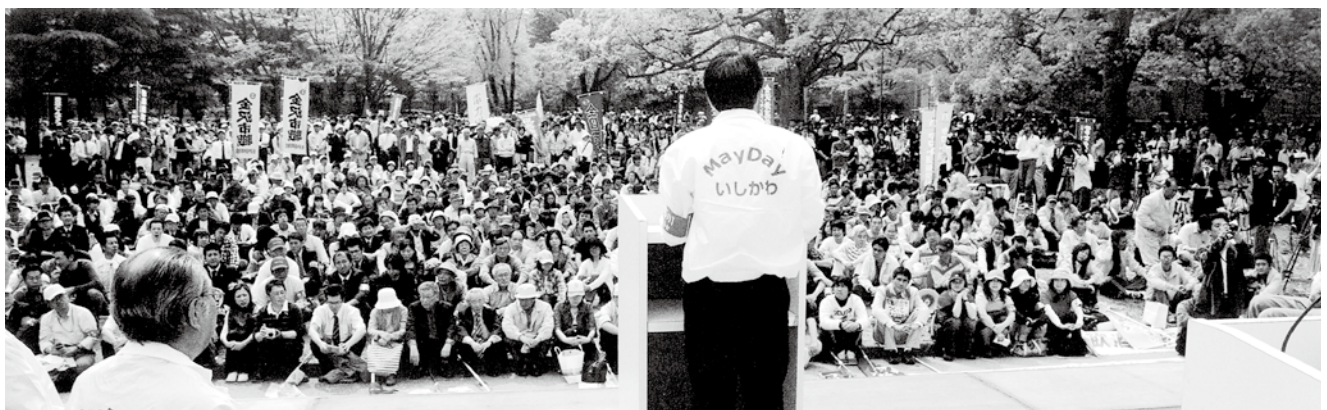
「すべての働く者の連帯で『平和・人権・環境・労働・共生』に取り組み、労働を中心とする福祉型社会と自由で平和な世界をつくらう!」をメインスローガンに、第79回石川県統一メーデーが県内9会場で1万8百人が参加し開催された。

今年のメーデーは、小松能美会場が4月28日(月)に開催、残る8会場(珠洲能登・輪島穴水・七尾鹿島・羽咋・河北・白山野々市・加賀・金沢中央)は5月1日(木)に開かれた。

各会場では、「すべての労働者が立ち上がり、格差是正を求めて、力強く訴えていこう!労働者の使い捨てを許さない!」とするメーデー宣言や「すべての労働者の賃金引き上げを勝ち取ろう!」など17項目のサブスローガン、暫定税率復活の撤回や後期高齢者医療制度の廃止、年金記録不備問題の解決を求める特別決議を採択した他、プラカード・デコレーション展、アトラクションなどが行われた。

5月1日、金沢市の県中央公園で開かれた「石川県統一メーデー金沢中央大会」には約4千人が参加。狩山久弥連合石川事務局長の開会挨拶に続き、

メーデー実行委員会の上田弘志委員長は、5月1日メーデー開催が石川県を含め11道府県となっていることに対し、「休みを奨励している労働組合が大型連休のさなかにメーデー参加を要請するのはおかしいとの意見があるが、5月1日が国民の祝日となるまでは、5月1日開催にこだわりたい」と話した後、労働分配率が5年連続で低下しているのに対し、「ワーク・ライフ・バランスの実現を目指し、働き方と所得の二極化、格差の固定化・拡大にストップをかけなければならない」と強調した。また、暫定税率復活や年金記録不備問題、後期高齢者医療制度について「問題が解決されずに進められることに対し、多くの怒りや不安の声が上がっている」と政府・与党の対応を厳しく批判し、「労働者のための政策実現に向け、次期衆議院選挙では、すべての選挙区で勝利しなければならない」と語気を強めた。最後に、雇用形態に関わらず、安心して働き、暮らすことのできる「労働を中心とする福祉型社会を実現させるため、組織拡大を進めながら、各種の取り組みに全力を挙げる」と挨拶を締め括った。



続いて、来賓の谷本正憲知事、山出保金沢市長、奥田建民主党県連幹事長、宮下登詩子社民党県連合代表、金原博新進石川会長が順に祝辞を述べた後、式典議長の坊真彦連合石川副会長が金沢市選出の県・市議会議員、連合石川顧問や協賛事業団体、県退職者連合の代表者を紹介し、スローガンを確認した。

今年は趣を変え、5産別・団体代表の取り組みを報告する「アピールコーナー」を挟み、メーデー宣言を柳浦深雪連合金沢青年女性委員会委員長が、特別決議を山下久美子連合石川青年女性委員会委員長がそれぞれ読み上げ採択。プラカード・デコレーション展の審査発表を柚木稔コンクール審査委員長が報告した。

最後に、山口幸男連合金沢議長の音頭でガンバロウ三唱した後、参加者は片町方面と武蔵方面に分かれてデモ行進した。

会場では式典に先立ち、九州・福岡を中心に南米ペルー・ブラジルでも活動が続いているボーカルユニット「HARU(ハル)」の演奏が行われた。

なお、恒例のパレード賞に片町方面は全国一般・運輸労連・J P労組、武蔵方面は情報労連・J A M・自治労・私鉄総連が選ばれた。

アピールコーナー



谷本正憲知事



山出保金沢市長

来
賓



奥田建民主党県連幹事長

挨拶



宮下登詩子社民党県連代表



金原博新進石川代表

ガンバロウ
三唱





プラ・デコ展



県教組

情報労連



片町方面



デモ行進



武蔵方面

メーデー協賛行事も開催

ロードレース大会

男女57人が力走

第79回メーデー協賛ロードレース大会(第42回石川県勤労者春季体育大会)は5月1日、県教育会館前千石通り→錦町→石川厚生年金会館前の7.4kmのコースを男女57選手が激しいレースを展開した。

2年ぶりに行われた石川陸協登録者による第1部で堂谷芳範(北陸電力)、登録者以外の第2部(男子)で新保外志秋(県職労A)が2連覇、第3部(女子)で折戸小百合(県職労A)が制した。上位3選手の合計タイムで争われる団体は、第1部北陸電力、第2部で県職労A、第3部で県職労Dがそれぞれ優勝した。



D 36分32秒	典子(北陸電力)	野渡真(北陸電力)	職分(北陸電力)	C 26分12秒	勝田(北陸電力)	一田(北陸電力)	清田(北陸電力)	範正(北陸電力)	個人▽第1部
39分24秒	④向谷(北陸電力)	③北鉄(北陸電力)	②北鉄(北陸電力)	24分12秒	①竹田(北陸電力)	②同(北陸電力)	③同(北陸電力)	④同(北陸電力)	①北陸電力
30分30秒	⑤西村(北陸電力)	⑥小百合(北陸電力)	⑦折戸(北陸電力)	27分56秒	⑧山寺(北陸電力)	⑨村本(北陸電力)	⑩新保(北陸電力)	⑪外志秋(北陸電力)	⑫西谷(北陸電力)
30分14秒	⑪川治(北陸電力)	⑫美翠(北陸電力)	⑬春風(北陸電力)	27分27秒	⑭折戸(北陸電力)	⑮小百合(北陸電力)	⑯折戸(北陸電力)	⑰小百合(北陸電力)	⑱折戸(北陸電力)
30分14秒	⑱折戸(北陸電力)	⑲小百合(北陸電力)	⑳折戸(北陸電力)	27分27秒	㉑小百合(北陸電力)	㉒折戸(北陸電力)	㉓小百合(北陸電力)	㉔折戸(北陸電力)	㉕小百合(北陸電力)
30分14秒	㉖折戸(北陸電力)	㉗小百合(北陸電力)	㉘折戸(北陸電力)	27分27秒	㉙小百合(北陸電力)	㉚折戸(北陸電力)	㉛小百合(北陸電力)	㉜折戸(北陸電力)	㉝小百合(北陸電力)
30分14秒	㉞折戸(北陸電力)	㉟小百合(北陸電力)	㊱折戸(北陸電力)	27分27秒	㊲小百合(北陸電力)	㊳折戸(北陸電力)	㊴小百合(北陸電力)	㊵折戸(北陸電力)	㊶小百合(北陸電力)
30分14秒	㊷折戸(北陸電力)	㊸小百合(北陸電力)	㊹折戸(北陸電力)	27分27秒	㊺小百合(北陸電力)	㊻折戸(北陸電力)	㊼小百合(北陸電力)	㊽折戸(北陸電力)	㊾小百合(北陸電力)
30分14秒	㊿折戸(北陸電力)	㊽小百合(北陸電力)	㊾折戸(北陸電力)	27分27秒	㊿小百合(北陸電力)	㊽折戸(北陸電力)	㊾小百合(北陸電力)	㊿折戸(北陸電力)	㊽小百合(北陸電力)

①北陸電力	②北鉄(北陸電力)	③北鉄(北陸電力)	④北鉄(北陸電力)	⑤北鉄(北陸電力)	⑥北鉄(北陸電力)	⑦北鉄(北陸電力)	⑧北鉄(北陸電力)	⑨北鉄(北陸電力)	⑩北鉄(北陸電力)
⑪北鉄(北陸電力)	⑫北鉄(北陸電力)	⑬北鉄(北陸電力)	⑭北鉄(北陸電力)	⑮北鉄(北陸電力)	⑯北鉄(北陸電力)	⑰北鉄(北陸電力)	⑱北鉄(北陸電力)	⑲北鉄(北陸電力)	⑳北鉄(北陸電力)
㉑北鉄(北陸電力)	㉒北鉄(北陸電力)	㉓北鉄(北陸電力)	㉔北鉄(北陸電力)	㉕北鉄(北陸電力)	㉖北鉄(北陸電力)	㉗北鉄(北陸電力)	㉘北鉄(北陸電力)	㉙北鉄(北陸電力)	㉚北鉄(北陸電力)
㉛北鉄(北陸電力)	㉜北鉄(北陸電力)	㉝北鉄(北陸電力)	㉞北鉄(北陸電力)	㉟北鉄(北陸電力)	㊱北鉄(北陸電力)	㊲北鉄(北陸電力)	㊳北鉄(北陸電力)	㊴北鉄(北陸電力)	㊵北鉄(北陸電力)
㊶北鉄(北陸電力)	㊷北鉄(北陸電力)	㊸北鉄(北陸電力)	㊹北鉄(北陸電力)	㊺北鉄(北陸電力)	㊻北鉄(北陸電力)	㊼北鉄(北陸電力)	㊽北鉄(北陸電力)	㊾北鉄(北陸電力)	㊿北鉄(北陸電力)

映画鑑賞「シッコ(SICKO)」

350人が来場

第79回メーデー協賛・映画鑑賞「シッコ(SICKO)」

は5月1日、石川県教育会館3Fホールで上映された。連合組合員やライフ・サポート会員、一般市民らが14時開演に約200名、18時30分開演に約150名が来場し、マイケル・ムーア監督がアメリカの医療制度を痛烈に批判した作品を鑑賞した。

ボウリング大会 222人が3部門で争う

【ボウリング】◇第1シフト▽団体1部
①THE・GOWAN(山口武雄、川崎拓也、中野幸一)2084②津田駒工業A1982③山崎学習塾1968④TEN⑤久世ペローズB⑥クレイジーA▽2部 ①クラッシュA(宮沢健三、南浩一、池田嘉郎)1907②うさぎクA1810③シブヤマシンリー1757④井上チーム⑤サンケイ自動車⑥シャモメルB▽3部 ①フレンドクA(寺尾悦子、所順子、石野好子)1873②ビックウエーブA1864③同B1826④TKK⑤フレンドクB⑥北鉄労組B
▽個人1部 ①中野幸一(THE・GOWAN)729②川崎(同)727③倉田(山崎学習塾)714④松本(津田駒工業B)⑤徳田信也(TEN)⇒ハイゲーム・南谷隆(久世ペローズB)276▽2部 ①山田幸雄(ビックウエーブB)691②宮沢(クラッシュA)685③寺尾(フレンドクA)652④寺尾(TKK)⑤谷(うさぎクA)⇒ハイゲーム・宮沢健三279▽3部 ①江尻芳一(ビックウエーブA)663②南(フ

レンドクB)650③西田(久世ペローズB)649④所(フレンドクA)⑤山口(TKK)⇒ハイゲーム・江尻267

◇第2シフト▽団体1部 ①F2B(藤本外茂夫、藤本美智子、番作隆行)2020②THE・GOWAN2019③津田駒工業B1946④TEN⑤久世ペローズB⑥ALWAYS▽2部 ①ビックウエーブA(山田幸雄、三島昭夫、宇野巖)1803②サンケイ自動車1795③ドリム1763④寿⑤ビックウエーブB⑥うさぎクA
▽個人1部 ①藤本外茂夫(F2B)721②中野(THE・GOWAN)701③野村潤(津田駒工業B)699④番作(F2B)⑤徳田(TEN)⇒ハイゲーム・番作隆行279▽2部 ①千木千恵子(ALWAYS)647②千木辰(同)645③垣内(風太郎A)640④八田(THEユニボ)⑤谷(うさぎクB)⇒ハイゲーム・千木辰巳257▽3部 ①村上英哉(ドリム)675②尾張(同)661③宇野(ビックウエーブA)637④辻(サンケイ自動車)⑤西田富美子(久世ペローズB)

第79回 メーデー協賛ボウリング大会

主催 石川県勤労者体育協会 共催 メーデー実行委員会



上田弘志労協協理事長が開会挨拶

ボールで行われ、222人の選手が第1(午前)・第2(午後)シフトに分かれ、1部(JBC会員)、2部(一般)、3部(3人の合計年齢180歳以上)ごとに争われた。

団体では、第1シフトの1部でTHE・GOWAN、2部でクラッシュA、3部でフレンドクラブA、第2シフトの1部でF2B、2部でビックウエーブAがそれぞれ優勝した。

第79回メーデー協賛ボウリング大会(第42回石川県勤労者春季体育大会)は4月29日、金沢市のジャン

勤体協 第42回春季体育大会

石川県勤労者体育協会主催「第42回春季体育大会」の各種目が開催された。

「弓道大会」は4月29日、白山市白山郷公園武道館鶴来弓道場で一人12射の団体戦と個人戦が行われ、団体は津田駒工業B(堂前秀樹、板井翼、牧野学)が優勝、個人の男子は牧野学(津田駒工業B)が優勝、女子は山本真理子(能美市)が4連覇を果たした。

「ソフトボール大会」は金沢市営専光寺ソフトボール場と金沢テクノパーク運動広場で開かれた。第1日(4月13日)のA、B組では、A組で県職パワーズ、

B組でハスキーが優勝。第2日(5月4日)のC組では球宴会が優勝。第3日(5月11日)のD組は雨天のため順延。第4日(5月18日)のE組はクラブリベロが優勝した。

「剣道大会」は5月18日、県立武道館で行われ、団体は北陸綜警A、個人は男子で佐藤博之(北陸綜警)、女子で四柳智恵(中西造園)がそれぞれ優勝した。

なお、勤体協等が後援した「第7回金沢城リレマラソン」が5月12日に開かれ、302チーム約3,300人が参加。石川県勤労者体育協会のAチームが職場仲間部門で優勝、Bチームが12位となり、総合成績でAチームが5位となった。

事務局日誌

<4月>

28(月) フレンドパーク石川防火訓練

フレンドパーク石川

<5月>

1(木) 第79回石川県統一メーデー

中央公園

〃 3県連合労福協・北陸労金連絡会議

北陸労働金庫本店

7(水) 事務局会議

フレンドパーク石川

12(月) ロシア沿海州労組訪問団交流会

金沢都ホテル

13(火) 白山・野々市LSC総会

白山労働会館

14(水) 労金県庁出張所第1回推進委員会

石川県庁

〃 河北LSC総会

サンライブ津幡

15(木) 金沢勤労者SC評議員会

金沢勤プラ

〃 中央労福協・歴史理念講座(～16日)

静岡県

17(土) 食緑水ネット・支援米田植え

金沢市内

19(月) 労金石川県推進委員合同会議

金沢都ホテル

〃 第4回人事委員会

連合石川

〃 第79回石川県統一メーデー第1回実行委員会

金沢市内

22(木) ろうきん金沢西支店地域推進委員会

金沢勤プラ

23(金) 第45回住宅生協総代会

フレンドパーク石川

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

会員募集状況／サポート状況

4月30日現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	5	0 0
わじま	2	8	0 0
ななお	6	3	0 0
はくい	1	5	0 0
かほく	12	46 (+1)	8 0
かなざわ	89 (+1)	251 (+11)	63 0
はくさん	25	60 (+3)	20 0
こまつ・のみ	15 (+1)	28 (+1)	2 0
かが	3	4	0 0
計	159 (+2)	410 (+16)	93 0

※()は前月比。尚サポート回数は、今年度の総数

さわやかU

グループホーム利用者と新緑を楽しむ



いしかわ介護ボランティアセンター(さわやかU)主催「バスハイク」を昨年に続き“新緑を楽しむ船の旅”とし、5月17日(土)、グループホーム利用者やボランティアら47名が参加し実施した。



当日は、心地よい春の日和となり午前9時45分「さわやかU」ボランティア会員19名が大型バスで労済会館前を出発。途中、金沢市御影町で「グループホームこころ」の利用者4名と家族・ホームヘルパー4名、三十苅町で「グループホームひまわり」の利用者7名と家族・ホームヘルパー13名と合流し、山側環状線から一路、富山県の庄川峡県定公園に向かった。

車中で宮本一ニ事務局長の司会のもと、澤信俊理事長が歓迎の挨拶を述べ、「老人グループホームこころ」の坂本早苗さんと「グループホームひまわり」の渡辺施設長より御礼の挨拶を受けた。

12時に昼食会場の「エントランス庄川」に到着し、地元の食材を使った昼食御膳に舌鼓をうち、お土産を買うなど自由時間を楽しんだ後、13時に今回のメイン会場の庄川峡小牧温泉乗船場へと向かった。

ダムによってできた湖は、深い緑色に輝き、岸边を新緑が囲む絶景。一行は、逸る気持ちを抑えながら、お年寄りを負ぶって「やまぶき」(定員120名)に乗船。心地よい風と湖畔の新緑が疲れた体と心を癒してくれる中、約30分間の船旅を楽しんだ。

14時に小牧温泉乗船場を後にし、途中、北越おかきの「御菓蔵(おかぐら)」に立ち寄り、御菓子の製造工場を見学。「娘にお土産や」と言いながら“おかき”を買う利用者に心が温まる思いがした。

帰路のバスの中では、参加者全員でクイズや合唱をして交流を深めた。お年寄りの顔には疲れの中にも清しさが感じられ、予定時間の16時30分に全員無事、労済会館前に到着し解散した。

ご協力いただいた両ホームの方々やボランティア会員に心から感謝します。

いしかわ介護ボランティアセンター事務局 野村昇司

フレンドパーク石川

春の防火訓練を実施

4月28日(月)午後1時30分より、石川県勤労者福祉文化会館(フレンドパーク石川)の防火訓練を実施した。

金沢市駅西消防署の豊田明広消防司令補と川田敏施・高野仁史各消防士長の指導の下、2階ホール前のホワイエ(喫煙所)を出火元に想定して始まった避難訓練は、非常ベル通報→消防署連絡→館内放送→誘導避難→隊長報告と、各階の消火器を火元まで持って行き仮想消火するという内容で行った。

次に、会館前の駐車場で消火器と消火栓を使用しての消火訓練では、川田消防士長から消化器の説明を受けた後、各テナントの代表6名が消火器の使用方法を体験した。また、1階消火栓を使用しての訓練では、綿征一フレンドパーク石川・防火管理者が操作法を説明し、代表2名が水圧の強さを体験した。初体験者からは「消火中、心臓がドキドキした」や「水の勢いの強さにビックリした」という声が聞かれた。

引き続き、豊田消防司令補より「今年5月31日までに住宅用火災報知器の設置が義務付けられた。自分の命、家族の命を守るために設置しよう」と協力を要請し、「災害に備え、日常の訓練が大事」と締め括った。

最後に、才田巖自衛消防隊長が「毎年、春と秋に防火訓練を実施しているが、会館利用者の安全のためにもこの訓練を継続する」と挨拶し、訓練を終了した。



【当会館のエレベータ】

震度3以上…最寄りの階に停止し、ドアが開く。

1分間信号待機した後、再起動。

震度4以上…最寄りの階に停止し、ドアが開く。

業者の安全点検終了まで停止。

火 災 時…1階まで移動し、ドアが開いてから停止。

停 電 時…停電時自動着床装置が働き、最寄りの階で停止して開く。

【当館の防火扉】

大きな揺れによりフックがはずれ、ドアが閉まる。避難時は、防火扉の小ドアを利用する。

食・緑・水ネット

アジア・アフリカ支援米「田植え」

5月17日(土)、金沢市牧山町で「食とみどり、水を守るいしかわネットワーク」によるアジア・アフリカ支援米「田植え」が行われた。

五月晴れのもと、連合石川組員や家族ら約150名が活動に参加。集合場所の金沢市ガラス工房グラウンドでは、上田弘志ネットワーク代表や奥田建民主党県総支部連合会幹事長、山本由起子社民党金沢市議、山口幸男連合金沢議長が挨拶。星野貴男事務局局長が「食・緑・水ネット」の取り組みを報告し、地元の山本英一さん(田んぼの地主)より「田植え」指導を受けた。

参加者は、すぐそばの田んぼで泥だらけになりながら苗を一本ずつ丁寧に植え、あつと言う間に2枚の田んぼを仕上げた。

昼食は、全農林や連合石川、労福協、民主党、社民党のネットワーク支援団体の役職員がお世話した焼きそば、メッタ汁、おにぎり、ポップコーンを食した。

午後からは、子どもたちによる生きもの観察が行われ、全農林分会の中田(昆虫博士)・原田両氏の指導、全農林青年部・女性部の引率により、用水路や田んぼのまわりの畦で昆虫類を採取。グラウンドに戻り、中田・原田氏より採集した昆虫の種類を聞きながら顕微鏡で観察した。

最後に、上田代表から閉会挨拶を受け終了した。



連合石川

ロシア沿海州労組が表敬訪問



北陸3県連合とロシア沿海州労組は、毎年交互に代表者の交流を行っているが(子どもの派遣交流は毎年実施)、この度、5月12日～14日の間、グリゴリユーク・ヴィシエスラフ沿海州労組連合副議長ら4名が連合石川を表敬訪問した。

12日の金沢都ホテルでの「歓迎会」には、連合石川役職員や石川労福協の役員が出席。上田弘志連合金沢会長が「1974年(昭和49年)から当時の県評が続いていた交流を1993年に連合石川が引き継ぎ、互いの立場を尊重し現在に至っている。これからも継続し、親睦を深めて行かなければならない」と挨拶し、おみやげの加賀人形と能面を手渡した。

一行は、これより先にフレンドパーク石川で連合金沢役員と意見交換会を行った。また、13日には石川県庁と金沢市役所を訪問し、高本隆商工労働部長、森源二副市長とそれぞれ懇談、午後には兼六園・金沢城とひがし茶屋街などを見学した。14日はコマツ栗津工場を視察した。

なお、15日から富山県に移動、連合金沢が一行を歓迎し、16日午後、富山空港発、ウラジオストク行きで帰国した。

金沢地域LSC

収集タオル5千本を寄贈

金沢地域LSCボランティア部会は、今年の1月～3月までの間、連合金沢や北陸労金の金沢市内4店舗、全労済、労信協などの事業団体に呼び掛け「タオル1万本キャンペーン」を実施。単組の組員や事業団体の役職員らから種々のタオルが集められた。

4月24日(木)、収集された約5千本のタオルを、金沢地域LSCボランティア部会の野村昇司部会長や田上照夫副部会長、富瀬永連合金沢事務局長、谷内英明金沢地域LSC事務局長の4名が2班に分かれ、金沢市内のNPOパッチワーク(長田本町)、社会福祉法人希望が丘(小池町)など、精神障害者・日常生活支

援センター24施設を訪問し贈呈した。

施設の担当者からは、「本当に助かります。心のこもった物をいただきありがとうございます。早速、施設利用者のお風呂用などに活用させていただきます」と感謝された。後日、2事業所から「感謝状」が届けられた。

なお、この訪問活動は4月25日の地元新聞に掲載された。



金沢地域LSC 事務局長 谷内英明